

## 平成23年度 事務事業評価表(平成22年度分に係る報告)

評価対象事務事業名	林業後継者活動活性化対策事業			事業コード	0657
担当課等	所属名	農林部 林政課	担当係名		
	課長名	農林部 林政課	担当者名	林崎 衛	電話番号

## 1. 事務事業の基本情報

総合計画体系	施策の柱	活力ある産業の振興	コード 5	施策	活力ある農林業の振興	コード 1
	基本事業	生産意欲と技術の向上	コード 1	関連予算 費目名	一般会計 6款 2項 2目 林業後継者活動活性化対策事業(009-01)	
	特記事項					
事業期間	<input type="radio"/> 単年度 <input checked="" type="radio"/> 単年度繰返 <input type="radio"/> 期間限定複数年度      ⇒(開始年度 5年度～)					
事務事業の概要	これからの林業をにう後継者の育成及び経営意欲の増進と一般の市民の皆さんへの林業理解を深めることを目的に森林・林業講演会を開催する。					
根拠法令等	なし					
この事務事業を開始したきっかけ(いつ頃どんな経緯で開始されたのか)						
林業を取り巻く情勢の悪化に伴い、林業後継者の林業に対する関心が薄れ、自分の所有する森林がわからないという問題が増え始めたことから、後援者の支援として、興味のあるテーマにより講演会を開催することにより林業離れを防ぎ、最終的に後継者が森林整備を行うことを期待するものである。						
この事務事業に対して関係者(市民、議会、事業対象者、利害関係等)からどのような意見・要望が寄せられているか						
特になし						
事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令)はどうか。今後の見通しはどうか						
木材価格の低迷などより、林業後継者の林業に対する関心が薄れており、手入れの遅れた森林が増加し森林の広域的機能の低下が懸念されている。						

## 2. 事務事業の実施状況(Do)

①対象 (誰を、何を対象としているのか)	林業後継者等	⇒	②対象指標 (対象の大きさを示す指標)	A. 森林所有者数	単位	人
				B.	単位	
				C.	単位	
③手段 (事務事業の内容、やり方、手順)	22年度実績(22年度に行った主な活動) 盛岡市主催により森林・林業講演会を平成23年2月25日(金)に開催した。 23年度計画(23年度に計画している主な活動) 森林・林業講演会の開催	⇒	④活動指標 (事務事業の活動量を示す指標)	A. 行事等への後継者参加者数	単位	人
				B.	単位	
				C.	単位	
⑤意図 (この事業により対象をどのように変えるのか)	林業後継者の意欲増進と、健全な森林育成を図る。また、一般市民に対しても林業に対する理解を深めてもらう。	⇒	⑥成果指標 (意図の達成度を示す指標)	A. 行事等への後継者参加者数/森林所有者数 【指標の性格:●上げる ○下げる ○維持する】	単位	%
				B. 【指標の性格:○上げる ○下げる ○維持する】	単位	
				C. 【指標の性格:○上げる ○下げる ○維持する】	単位	
⑦結果 (上位基本事業の意図:上位の基本事業にどのように貢献するか)	自立が図られる	⇒	⑧上位成果指標 (上位基本事業の成果指標)	都市・農山村交流人口(単位:人) 農業純生産額(単位:百万円) 林業純生産額(単位:百万円)		

2. 事務事業の実施状況(続き)

⑨事務事業の各種指標の実績及び目標値

区分	指標名	単位	20 年度実績	21 年度実績	22 年度計画	22 年度実績	23 年度計画	24 年度計画	目標年度 目標値
対象 指標A	森林所有者数	人	2118	2118	2118	2118	2118	2118	24年度 2118
対象 指標B									年度
対象 指標C									年度
活動 指標A	行事等への後継者参加者数	人	100	100	100	100	100	100	24年度 100
活動 指標B									年度
活動 指標C									年度
成果 指標A	行事等への後継者参加者数/森林所有者数	%	4.7	4.7	4.7	4.7	4.7	4.7	24年度 4.7
成果 指標B									年度
成果 指標C									年度

⑩事務事業に係る事業費

区分	指標名	単位	20 年度実績	21 年度実績	22 年度計画	22 年度実績	23 年度計画	24 年度計画	*****
事業費	A	千円	25	54	54	23	53	53	*****
財源 内訳	④国	千円							*****
	⑤県	千円							*****
	⑥地方債	千円							*****
	⑦一般財源	千円	25	54	54	23	53	53	*****
	⑧その他	千円							*****
	合計(④~⑧)(=A)	千円	25	54	54	23	53	53	*****
	延べ業務時間数	時間	80	80	80	80	80	80	*****
	職員人件費(B)(臨時職員賃金は、事務費に含む)	千円	320	320	320	320	320	320	*****
	トータルコスト(A)+(B)	千円	345	374	374	343	373	373	*****


3. 事務事業の評価(See)

必要性評価	① 施策体系との整合性 この事務事業の意図は、結果(政策体系)に結びついていますか？	<input type="radio"/> 見直す余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 結びついている	理由: 林業後継者が林業について感心を持つことによって森林整備の意欲が高まり、その結果林業の活性化に結びつき、最終的に安定した林業による収入が得られる。
	② 公共関与の妥当性 市がやるべき事業ですか？ 税金を使って達成する目的ですか？	<input type="radio"/> 見直す余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 妥当である	↳ 「妥当」とする理由: <input type="radio"/> 法定事務である <input type="radio"/> 内部管理事務である <input checked="" type="radio"/> その他 理由: 林業が衰退している現状において、活性化を促すことは森林所有者個人が対処するには限界がある。また、林業の活性化は森林の公益的機能の保全のためにも重要であり、市民全体の利益となることから市が関与することは妥当である。
	③ 対象の妥当性 対象の設定は現状のままでいいですか？ 広げられませんか？ また絞らなくてよいですか？	<input type="radio"/> 拡大または絞る余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 現状で妥当である	↳ 「妥当」とする理由: <input type="radio"/> 法定事務である <input type="radio"/> 内部管理事務である <input checked="" type="radio"/> その他 理由: 市内の林業後継者及び市民二地域の森林・林業の現状についてさらに認識を深めてもらう必要がある。
	④ 意図の妥当性 意図(何を狙っているのか)を絞ったり拡大したりして、成果向上できませんか？	<input type="radio"/> 拡大または絞ることができる ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 現状で妥当である	↳ 「妥当」とする理由: <input type="radio"/> 法定事務である <input checked="" type="radio"/> その他 理由: 林業後継者だけではなく、より多くの一般市民の方々に森林・林業に関する知識を普及することによって、地域材の需要を掘り起こし、安定した林業生産所得を得られる可能性がある。
有効性評価	⑤ 成果の向上余地 成果がもっと向上する余地はありますか？	<input checked="" type="radio"/> 向上余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input type="radio"/> 向上余地がない	その内容: 林業に対する理解が深まり、森林整備等が適正に行われ、安定した所得を得られるようになれば、成果は向上する。
	⑥ 廃止・休止の影響 事業を廃止・休止した場合、施策の成果に及ぼす影響はありますか？	<input type="radio"/> 影響がない ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 影響がある	その内容: 現在の林業の現状は厳しいものがあり、廃止により森林所有者への情報の隔絶が進み、生産意欲がさらに低下する可能性がある。
	⑦ 類似事務事業との関係 類似の事務事業(国、県、市の内部、民間)はありますか？	<input type="radio"/> 類似事業がある <input checked="" type="radio"/> 類似事業がない	事業名: ※類似事業がある場合、その事務事業と統廃合又は連携を図ることにより成果向上はできませんか？ 統廃合・連携検討 <input type="radio"/> できる ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input type="radio"/> できない 理由:
効率性評価	⑧ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できる余地はありますか？	<input type="radio"/> 削減余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 削減できない	理由: 最低の経費で事業を行っている。
	⑨ 人件費の削減余地 成果を下げずに人件費(延べ業務時間数)を削減する余地はありますか？	<input type="radio"/> 削減余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 削減できない	理由: 最低限の人員で事業を行っている。
公平性評価	⑩ 受益機会の適正化余地 受益機会の適正化余地はありますか？	<input type="radio"/> 適正化余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 公平・公正である <input type="radio"/> 特定の受益者はいない	理由: 森林所有者はもちろん一般市民も対象とし、講演会を行っているため、受益機会は適正であるといえる。
	⑪ 費用負担の適正化余地 受益者の費用負担の適正化余地はありますか？	<input type="radio"/> 適正化余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 公平・公正である <input type="radio"/> 特定の受益者はいない	理由: 厳しい林業情勢の状況において、有料化による講演会の成功の見込みはありえないと判断されるので、費用負担の余地はない。

4. 事務事業の改革案(Plan)

改革／改善方向	①改善の方向性(この事務事業をどう変えていくか、廃止や拡充、事業方式改善など) ※複数ある場合は、代替案その1, 代替案その2とすること 森林所有者をはじめ、より多くの市民に林業への関心を持ってもらうため、林業に関する情報提供できる機会を増やす。 ②改革, 改善を実現していく際に想定される問題点は何ですか? それをどう克服していきますか? (関連部門や全庁的な調整の必要性, トップへの要望も含む) PRする範囲が広くなれば、準備にかかる時間や労働力も増やす必要が出てくる可能性があるため、還暦間との連携をはかっていく必要がある。
---------	---

5. 課長意見

一次評価	(1)一次評価者としての評価結果 ① 必要性      ● 妥当              ○ 見直し余地あり : ② 有効性      ● 妥当              ○ 見直し余地あり : ③ 効率性      ● 妥当              ○ 見直し余地あり : ④ 公平性      ● 妥当              ○ 見直し余地あり :	(2)全体総括(振り返り, 反省点) 後継者は林業経営へ意欲を失っている状況の中、本事業により、少しでも明るい情報を提供し続ける必要がある										
今後の方向性と改革改善案	(3)今後の事務の方向性(改革改善案) <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <tr> <td><input type="checkbox"/> 終了</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 継続</td> <td rowspan="3" style="vertical-align: middle;">→</td> <td><input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)</td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/> 廃止</td> <td><input type="checkbox"/> 休止</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 改革改善を行う</td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td><input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携</td> </tr> </table>		<input type="checkbox"/> 終了	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	→	<input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 休止	<input checked="" type="checkbox"/> 改革改善を行う			<input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携
<input type="checkbox"/> 終了	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	→	<input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)									
<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 休止		<input checked="" type="checkbox"/> 改革改善を行う									
			<input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携									
												
方向付けの理由と改革改善の内容 このような林業情報は後継者である森林所有者だけに情報提供するのではなく、より多くの一般市民にも情報提供し森林・林業への理解を深めてもらう必要がある。												